Title:広報5月号.eca Page:1」 2016/04/18 Mon 08:14:31 Date:

(1) 第42号

|                 | しいういういういういう                  |                                |
|-----------------|------------------------------|--------------------------------|
|                 | ()                           | また、社会福祉サービスの資源全力を尽くす所存でございます。  |
| 啓光だより           | ソ東京都多摩市和田一七一七<br>社会福祉法人啓光福祉会 | として地域社会に貢献できる施設                |
|                 |                              | ご指尊、お力忝えをいただきますとなるよう努めて参りますので、 |
|                 |                              | ようお願い申し上げます。                   |
| 新年度を迎えて         | ビスの向上を目指して参ります。              | )                              |
|                 | 取り組みの一つとして、研修の               | 着任のご挨拶                         |
|                 | 充実等により人材育成に努め、職              |                                |
| 長               | 員の支援技術の向上や自律を図る              | 啓光学園                           |
| 依田 明            | ことといたしました。                   | 総務課長                           |
|                 | また、「サービス向上委員会」と              | 蔵本 兼作                          |
| 皆様方には、日頃から温かいご  | 「虐待防止委員会」を連携させ、全             |                                |
| 支援・ご協力を賜り、心より御礼 | 職員で利用者の権利擁護の取り組              | 四月から啓光福祉会の一員とな                 |
| 申し上げます。         | みを強化いたします。                   | り、微力ながら多摩市在職中の経                |
| さて、先般、社会福祉法の一部  | 皆様方におかれましては、今年               | 験も生かし、一日も早く法人の運                |
| が改正され、改めて社会福祉法人 | 度も変わらぬご理解・ご協力のほ              | 営に貢献できる力を付けたいと考                |
| の公益性、財務規律の強化、事業 | どお願い申し上げます。                  | えております。                        |
| 運営の透明性がますます強く求め |                              | また、利用者の皆様に、啓光福                 |
| られるようになりました。    | 就任のこ技找                       | 祉会の施設を利用して本当に良                 |
| 当法人では、社会福祉法人とし  | )                            | かったと思っていただけるよう、                |
| ての役割を踏まえ、新たな事業展 | 啓光学園                         | 全力で努めて参ります。よろしく                |
| 開や施設の維持・管理等に必要な | 施設長                          | お願いいたします。                      |
| 中長期の事業計画をしっかり整え | 森田 淳嗣                        | 下戊二十八月史                        |
| て、より効率的な事業運営を進め |                              | 平成二十八年度                        |
| て参ります。          | このたび四月一日付けで啓光学               |                                |
| そのためまず、経営理念を四月  | 園の施設長という大役を仰せつか              |                                |
| 一日より改訂いたしました。   | ることになりました。前任の石渡              | 今年度は、社会福祉法の改正を                 |
| 利用者本位の経営、職員参加型  | 施設長が築き上げた基盤をしっか              | 踏まえ、諸制度の整備とともに、                |
| の運営を柱に、一層の利用者サー | りと受け継ぎ、サービスの拡充に              | 財務規律の強化や長期ビジョン策                |

H +

L

Г

平成28年5月

に、 み、工賃アップを目指します。 ワーク「たまげんき」の共同受注 動に加え、多摩市障害福祉ネット 中活動を進めます。 た「さくら作業所」での新たな日 向上を図って参ります。 施設入所から地域生活支援を基本 ループホームの設置を目指します。 進めて参ります。 員会を設置し、諸課題の見直しを 定のため、中長期事業計画検討委 に参加し、新たな作業にも取り 啓光えがおでは、これまでの活 啓光学園では、前年度に完成し 施設整備では、 専任職員の下で利用者支援の 3カ所目のグ 組



啓光学園 さくら作業所完成

平成28年5月

(2) 第42号



園庭の桜は今年も満開 とな Ŋ ま した

> き続き整えて参ります。 の 研 ナー るよう、 員が受講できる体制を今年度も引 階層別役割を学ぶ研修に多くの職 として利用者支援に携われるよう、 ない方に対するコミュニケーショ て、  $\mathcal{O}$ 余暇の充実に向けてサー めてまいります。また、  $\mathcal{O}$ とを基本方針として掲げています。 テ 小 ン方法の確立、 最後に職員の専門性の向上とし 設立なども計画していきます。 選択肢の中から自己決定が出来 人ひとりに合わせて提供するこ ージに応じたサポートを利用者 期 支援の実践としては、より多く 修と、生活支援職員がチーム ・等の専門知識を習得するため 利用者の障害特性や、 から成人期までのライフス 情報提供方法の工夫に努 利用者に接するマ 利用者の クル活動 言葉の

空間と、

夜間や休日ではリラック

の仕事ではやりがいを感じられる

方、

成人の利用者の方は、日中

が持てるように支援していきます。 年期では将来に向けて生活する力 では生活習慣が身につくよう、

青

活をしています。

幼少期や児童期

者

 $\bar{\mathcal{O}}$ 啓

一堂が、

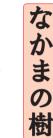
大きな集団の中で生

光学園は児童から成

人の利用

啓

「 光 学 園



年度も利用者さん6名でのスター トです。これまで以上により良い \_\_\_\_\_ + 八年度が始まりました。 今

活動

もに、

地域で開催される行事への



利用者が散水ボタンを押しています

ます。 れ、 皆様のご理解とご協力に支えら 5 和田に引っ越してきて2年目とい 援を行っていきた お願い致します。 需要に応じた支援を行ってまい れからも利用者お一人おひとりの まだ、 今年度もなかまの樹をよろしく 歴史の浅い施設ではありますが 今日に至っております。こ なかまの樹が出来て8年 いと思います。 Ŋ

力してまいります。よろしくお願 施設にしていくように職員一 致します。 今年度は人事異動や、 同 努 職

啓光えがお

 $\mathcal{O}$ 

 $\langle \cdot \rangle$ 

事を体験出来、 援が始まっておりますが、 ります。すでに新たな体制での支 なかまの樹に入ってくる職員がお や家族の方等、 が数名おり、それと同時に新たに などで、なかまの樹を離れる職 しく充実したものになるように支 りが、色々な仕事としての作業や なかまの樹では、 く迎えて頂くことが出来ました。 にチャレンジし、 関係者の方に暖か 一日いちにちが楽 利用者一人ひと さまざまな 定年退 利用者 員

うにします。 営業に向け、営業許可手続を進 させていきます。また、菓子製造 業や販売にも力を入れ、 作業の提供を行い、 3つの「柱」を中心に支援を進 歳時記や年間行事を実施するとと 築し菓子製造作業が提供できるよ ていくとともに、 として価値あるものとなるよう、 んき」に参加して受注活動を充実 てまいります。 今年度、 まず、啓光えがおが つぎに、「楽しめる場」として、 啓光えがおでは以下 作業室を一部 施設外での作 「働く場 「たまげ 改  $\mathcal{X}$ Ø

(3) 第42号

ていきます。

よう、

をしていきます。 みにつきましても、



「休める場」 として庭に休憩スペースを整備

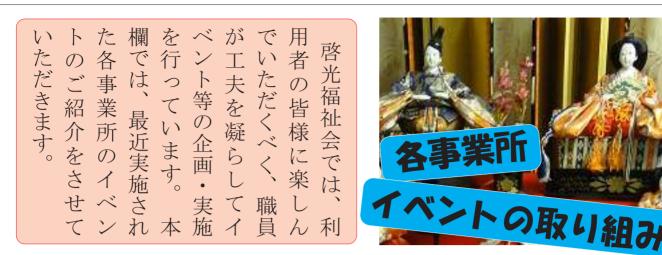


《昇任》 《昇任》 梅原善直 清原美織 並木貴子 石渡久雄(啓光学園施設長·事務局長) 《昇任》生活支援係加工製作係班長 《異動》啓光学園生活支援課看護師 《昇任》 《異動》なかまの樹 (なかまの樹看護師) (啓光えがお非常勤) 生活支援係主任 生活支援係園芸・バイオ係班長 工芸・デザイン係班長 啓光えがお (啓光学園看護師 (啓光えがお生活支援係) 退職 (生活支援係) 大嶋弥生子 (啓光学園生活支援課 (生活支援係) (生活支援係) 八幡 (啓光学園) 藤田美子 山本新太郎 木村真美 瀧眞樹

平成28年5月

(4) 第42号

L



に出か 聖蹟 ただけたことと思います。 初 な 旬 春 桜 桜桜 が見ごろとなった  $\mathcal{O}$ ケ丘 陽 け 見事な桜の なかまの Í 気を感じ取ってい した。 駅前まで 樹 木があっ うらら お花見 4 る 月 か



所用

所式を開催しました。 月者の方々をお迎えし し、2人の新た。

Ĺ

新たな

はテラスで召し

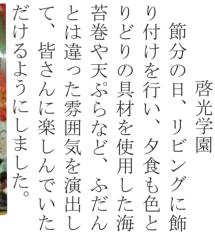
上

が

つ

昼 T

い食入利





| 啓光えがお |  |
|-------|--|
|       |  |

| 編集後記 | Tel 0<br>42<br>- 3<br>19<br>- 3<br>38<br>0 | 東京都多摩市東寺方645-2 | $\overline{\mathbf{T}} \begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 6 \\ 0 \\ 0 \\ 3 \end{array}$ | □啓光ホーム伊野 | Tel 0 4 2 - 3 3 9 - 7 5 1 3 | 東京都多摩市一ノ宮4 - 27 - 12 | $\overline{\mathbf{T}} \begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 6 \\ 0 \\ 1 \\ 2 \end{array}$ | □啓光ホーム石村 | Tel 0 4 2 - 3 7 6 - 5 0 4 4 | 東京都多摩市南野3 - 15 - 1 | $\overline{\mathbf{T}} \begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 6 \\ 0 \\ 3 \\ 2 \end{array}$ | 啓光相談支援センター | □啓光えがお | Tel 0 4 2 - 3 5 6 - 4 0 0 6 | 東京都多摩市和田1730‐3 | $\overline{T} \begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{array}$ | □なかまの樹 | Tel 0 4 2 - 3 7 5 - 7 3 0 3 | 東京都多摩市和田1717 | $\overline{\mathbf{T}} \begin{array}{c} 2 \\ 0 \\ 6 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{array}$ | □啓光学園 | 所 | ſ | 2 | 4 都 0 ホ 4 都 0 木 4 都 0 相 え 4 都 0 ま 4 都 0 学園   2 多 6   2 多 6   2 多 6   2 多 6 0 2 多 6 0 2 多 6 0 2 多 6 0 2 多 6 0 2 3 8 6 0 2 3 8 6 0 2 3 8 6 0 3 1 7 0 0 1 2 3 8 6 0 1 2 9 8 1 0 0 1 2 8 8 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
|------|--|----------------|---|----------|-----------------------------|----------------------|---|----------|-----------------------------|--------------------|---|------------|--------|-----------------------------|----------------|---|--------|-----------------------------|--------------|---|-------|---|---|---|--|
|------|--|----------------|---|----------|-----------------------------|----------------------|---|----------|-----------------------------|--------------------|---|------------|--------|-----------------------------|----------------|---|--------|-----------------------------|--------------|---|-------|---|---|---|--|

(広報編集委員会)

たします。

ま

す。どうぞよろしくお願

 $\langle \cdot \rangle$ 61 開してまいりたいと考えており

= |

ズに沿った、多様な支援を展

おります。これからも、皆様のれぞれ新体制で業務を開始して

新

年度を迎え、

各事業所ともそ